

知識集約型社会を支える人材育成事業（メニューⅠ・Ⅱ）
中間評価調書（案）

【公表】

1. 大学名	
2. 整理番号	
3. メニュー	
4. 事業計画名	
5. 事業プログラム に参加する学生 の所属学部等名	
6. 事業期間	令和2年度～令和6年度（5年間）

7. 事業計画責任者	職名・氏名	
8. 事務担当者	職名・氏名	
	電話番号	
	FAX番号	
	e-mail	

【公表】

9. 事業の概要（※400字以内）

10. 本事業プログラムへの学生受入状況

1. 令和6年度の本事業プログラム受入学生定員(1学年あたり)

--

2. 学生選抜の状況

--

3. 受入学生数の実績(令和4年5月1日現在)

(1)総表

年度	学年					
	学士課程1年	学士課程2年	学士課程3年	学士課程4年	修士課程1年 (メニューⅡのみ)	修士課程2年 (メニューⅡのみ)
令和2年度						
令和3年度						
令和4年度						
計						

(2)年度別・学生の所属学部別

【令和2年度】

学部等名	学年					
	学士課程1年	学士課程2年	学士課程3年	学士課程4年	修士課程1年 (メニューⅡのみ)	修士課程2年 (メニューⅡのみ)
年度計						

【令和3年度】

学部等名	学年					
	学士課程1年	学士課程2年	学士課程3年	学士課程4年	修士課程1年 (メニューⅡのみ)	修士課程2年 (メニューⅡのみ)
年度計						

【令和4年度】

学部等名	学年					
	学士課程1年	学士課程2年	学士課程3年	学士課程4年	修士課程1年 (メニューⅡのみ)	修士課程2年 (メニューⅡのみ)
年度計						

11. 本事業プログラムに参画する教員一覧

令和4年4月1日現在

No.	所属	職名	専攻分野	氏名	プログラムにおける役割
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
21					
22					
23					
24					
25					
26					
27					
28					
29					
30					
31					
32					
33					
34					
35					
36					
37					
38					
39					

進捗状況の概要 (1 ページ以内)

Blank area for progress summary.

(メニュー： 、大学名：)
(事業計画名：)

(1) 事業の実施体制 (3 ページ以内)

各進捗状況について、具体的に記載してください。

- ① 学内の組織的な実施体制が整備されているか (学長を中心とした体制の整備、FD・SDの実施体制の整備、学内への周知徹底を含む。)。【学内の実施体制】

② 取組の自己評価が適切に実施できる体制が整備されているか。【評価体制の整備】

③ 客観的なエビデンスに基づいたPDCAサイクルが機能しているか。【PDCAサイクル】

(2) 事業の具体的な取組の進捗状況 (4 ページ以内)

各進捗状況について、具体的に記載してください。

① 公募時の審査要項で示した評価項目 (別紙 2) に則して、取組は着実に進捗しているか。【取組の進捗状況】① 「三つの方針」を通じた学修目標の具体化② 授業科目・教育課程の編成・実施③ 学修成果・教育成果の把握・可視化④ 学修成果や教育成果、教育の質に関する情報の公表

② 目標に対する達成度はどうか。【目標に対する達成度】

【本事業プログラムとして設定する検証可能かつ明確な目標の達成状況】

	R2 年度		R3 年度		R4 年度		R5 年度		R6 年度	
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績
						—		—		—
						—		—		—
						—		—		—

【取組と成果】 ※目標の達成状況に係る分析や取組の成果について記載

(3) 事業の実施計画・継続性 (2ページ以内)

各進捗状況について、具体的に記載してください。

① 各年度の計画に基づき、着実に事業が実施されているか。また、今後の見通しはどうか。【計画の実施状況・見通し】

② 学内体制、専門人材の配置や学外との連携体制、FD・SDの実施等の面から、補助期間終了後も継続的かつ発展的に事業が実施されることが十分見込めるものとなっているか。【体制的な継続性】

(Empty response area for question 2)

③ 資金計画の面から、補助期間中、事業規模を縮小せず計画を遂行することが見込める内容・進捗となっているか。また、補助期間終了後も継続的かつ発展的に事業が実施されることが十分見込めるものとなっているか。【資金的な継続性】

(Empty response area for question 3)

(4) 事業成果の普及 (1 ページ以内)

進捗状況について、具体的に記載してください。

① 先駆的なモデルとなり、取組を波及させる計画を進めているか。【先進性・波及効果】(メニュー： 、大学名：)
(事業計画名：)

(5) 採択時に付された留意事項及び現地視察報告書への対応 (3 ページ以内)

各進捗状況について、具体的に記載してください。

① 採択時において付された留意事項への対応を適切に行っているか。【採択時に付された留意事項への対応】

採択時において付された留意事項	対応状況

(メニュー： 、大学名：)
(事業計画名：)

② 現地視察報告書において付された課題・意見への対応を適切に行っているか。【現地視察報告書への対応】

現地視察報告書において付された課題・意見	対応状況

(メニュー： 、大学名：)
 (事業計画名：)

事業計画を通じて構築される全学的なマネジメント改革への対応状況（1 ページ以内）

進捗状況について、具体的に記載してください。なお、本項目の記載内容については、関連する評価項目及び総合的な判断の参考とします。

(メニュー： 大学名：)
(事業計画名：)

(6) 経費執行の適切性 (年度毎に1ページ以内)					
①取組内容に照らし、経費執行を適切に行っているか。【経費執行の適切性】					
令和3年度までの実績報告(「補助対象経費別内訳対比表」の「実支出額」)に基づき記載してください。				記載例 : 教材印刷費 ○○○千円 ○○部×@○○○円 : 謝金 ○○○千円 ○○人×@○○○円	
(単位:千円)					
<令和2年度>	経費区分	補助金額 (①)	大学負担額 (②)	実支出額 (①+②)	備考
[物品費]					
①設備備品費					
.					
.					
②消耗品費					
.					
.					
[人件費・謝金]					
①人件費					
.					
.					
②謝金					
.					
.					
[旅費]					
①旅費(うち国内旅費)					
.					
.					
②旅費(うち外国旅費)					
.					
.					
③旅費(うち外国人招聘旅費)					
.					
.					
[その他]					
①外注費					
.					
.					
②印刷製本費					
.					
.					
③会議費					
.					
.					
④通信運搬費					
.					
.					
⑤光熱水料					
.					
.					
⑥その他(諸経費)					
.					
.					
令和2年度		合計			

(前ページの続き)

＜令和3年度＞	経費区分	補助金額 (①)	大学負担額 (②)	実支出額 (①+②)	備考
	[物品費]				
	①設備備品費				
	・				
	・				
	②消耗品費				
	・				
	・				
	[人件費・謝金]				
	①人件費				
	・				
	・				
	②謝金				
	・				
	・				
	[旅費]				
	①旅費(うち国内旅費)				
	・				
	・				
	②旅費(うち外国旅費)				
	・				
	・				
	③旅費(うち外国人招聘旅費)				
	・				
	・				
	[その他]				
	①外注費				
	・				
	・				
	②印刷製本費				
	・				
	・				
	③会議費				
	・				
	・				
	④通信運搬費				
	・				
	・				
	⑤光熱水料				
	・				
	・				
	⑥その他(諸経費)				
	・				
	・				
	・				
令和3年度	合計				

様式 4 (参考資料) 年度別・経費区分別執行額一覧

(単位:千円)

経費区分	物品費	(合計額に占める割合)	人件費・謝金	(合計額に占める割合)	旅費	(合計額に占める割合)	その他	(合計額に占める割合)	合計額
令和2年度	0	#DIV/0!	0	#DIV/0!	0	#DIV/0!	0	#DIV/0!	0
令和3年度	0	#DIV/0!	0	#DIV/0!	0	#DIV/0!	0	#DIV/0!	0

※金額は補助対象経費 (補助金額と自己負担額の合計額)

別添資料

メニュー：

大学名：

事業計画名：

【別添資料として求める資料一覧（案）】

・カリキュラムマップ、カリキュラムツリー、履修モデルなどの本事業プログラムの体系を説明する資料

・教育プログラムに関する科目のシラバス【10科目程度】

・中間評価調書に示した指標のエビデンス

※8ページ以内（シラバスを除く）。

※申請時調書、実施状況報告書と同様に、中間評価調書に記載されている内容のみ記載可とし、調書の該当するページ数も併せて記載する。

【該当する調書の箇所：p.○】

【該当する調書の箇所：p.○】

中間評価調書（案）の構成について

1. 基本情報関係

様式	評価項目	係数※	中間評価調書	(参考) 申請時計画調書	(参考) 実施状況報告書
様式 1	・ 基本情報 ・ 本事業プログラムへの学生受入情報 ・ 本事業プログラムに参画する教員一覧	—	基本情報：1 ページ 学生受入情報：1 ページ 教員一覧：指定なし	「基本情報」のみ 2 ページ	基礎情報：1 ページ 学生受入情報：1 ページ 教員一覧：指定なし

2. 評価項目関係

様式	評価項目	係数※	中間評価調書	(参考) 申請時計画調書	(参考) 実施状況報告書
様式 2	進捗状況の概要（公表箇所）	—	1 ページ以内	—	1 ページ以内
	(1) 事業の実施体制	4.0	3 ページ以内	3 ページ以内	1 ページ以内
	(2) 事業の具体的な取組の進捗状況	7.0	4 ページ以内	10 ページ以内	5 ページ以内
	(3) 事業の実施計画・継続性	3.0	2 ページ以内	2 ページ以内	2 ページ以内
	(4) 事業成果の普及	2.0	1 ページ以内	1 ページ以内	—
	(5) 採択時に付された留意事項及び現地視察報告書への対応	3.0	3 ページ以内	—	留意事項のみで 2 ページ以内
様式 3	事業計画を通じて構築される全学的な教学マネジメント改革への対応状況	—	1 ページ以内	2 ページ以内	1 ページ以内
様式 4	(6) 経費執行の適切性	1.0	各年度 1 ページ以内	各年度 1 ページ以内	※文部科学省に提出される「実績報告書」を引用
様式 5	事業計画申請時との相違点及びその理由「年度別の計画」 ※「(3) 事業の実施計画・継続性」に係る参考資料	—	2 ページ以内	—	—
計（様式 2～5）		20.0	最大 19 ページ	—	—

3. 別添資料

様式	係数※	中間評価調書	(参考) 申請時計画調書	(参考) 実施状況報告書
別添資料	—	シラバスを除いて 8 ページ以内 <必須資料> ◎カリキュラムマップ、カリキュラムツリー、履修モデルなどの本事業プログラムの体系を説明する資料 ◎教育プログラムに関する科目のシラバス（10 科目程度） ◎中間評価調書に示した指標のエビデンス ※記載は中間評価調書の内容のみとし、該当する調書のページ数を記載。 ※申請時調書における【概要資料】と【別添資料】を統合したもの。	【概要資料：面接審査時にも使用】 8 ページ以内 <必須資料> ◎事業計画全体を説明するポンチ絵 ◎カリキュラムマップ、カリキュラムツリー、履修モデルなどの本事業プログラムの体系を説明する資料 ※記載は計画調書の内容のみとし、該当する調書のページ数を記載。 【別添資料】 ・ 4 ページ以内 ・ 計画調書に示した指標のエビデンス	【概要資料】 8 ページ以内 <必須資料> ◎カリキュラムマップ及び養成する人材像に対応した履修モデル ◎活動状況が分かる写真等の 2 点を必ず含めた調書の概要資料 ※記載は報告書の内容のみとし、該当する報告書のページ数を記載。

※「係数」：中間評価における評価項目毎の係数